

聖稜だより

平成31年

春号



発行者 医療法人社団聖稜会

発行責任者 宮津 巖

発行日 平成三十一年四月二十六日



院長 横山日出太郎

新年度を迎えて

新しい仲間を迎え皆さま張り切っていることと存じます。今日は紙面をお借りし、普段考えていることを述べさせていただきます。こちらにお世話になって最初に感じたことは、当法人は人の役に立っており、頼りにされているということでした。

しかし、取り巻く情勢を見てみると、ベッド削減など地域の医療体制を具体的に決めるための調整

会議や、診療報酬改定による締め付けが我々の前に立ちはだかつていました。また近隣の回復期病床も増えており、好むと好まざるにかかわらず生き残りをかけ戦わなければならぬ気持ちになりました。

当院の戦略・目標は、皆が団結するために必要なことはと考えた結果、リハビリ専門施設として地域のブランドになり、地域に密着した組織になる事に行きつきました。

昨年は、稼働率改善と地域密着という意味で圧迫骨折などの緊急疾患患者の受け入れを行うようにしました。また、近隣施設や関連施設との連携も、いわゆる顔の見える関係から、具体的にお互いを生かす方向に舵を切ってきました病院間のみならず関連施設間の連携も大いに躍進したと評価してい

ます。多くの課題に対し、その都度皆で話し合い乗り切った一年だと思えます。

3月の調整会議では、当院は専門病院としての使命を果たしていますが、医療依存度の高い患者には対応できず、患者紹介は全面的に急性期病院に依存している。今後リハビリを生かし、運動器不安定症などの領域で少しずつ受け入れ枠を拡大し、地域に貢献していく所存であると話してきました。

施設に目を向けても同じような問題が山積しています。運営や経営面でも日々綱渡りといった感があります。一年を通じて感じたことは皆さんの熱意で視点が変わってきたという点です。会議一つにしても、施設内の観点から法人内全体の視野で問題を捉えるようになり、また問題解決の方法も具体的に詰めて検討するようにな

ったと思えます。進化し成長した一年だと感じています。今年度は勝負の年です！大いに頑張ってください。

法人を取り巻く状況や、課題はいろいろあります。ではどのような姿勢で立ち向かったらいいでしょうか。皆さまはどうお考えですか。

先日阿井専務が最後におっしゃっていました。二人一人が自分の病院だと思っていがんばって欲しい。皆さま覚えていますか。当然そう思っているよと反論が来そうですが、そこが肝ですね。目標は地域のブランドになり、地域に密着した病院・施設です。皆で勝ち取りましょう。もう一度そのことをお話しし結びとさせていただきます。

平成31年度入職式

平成31年4月1日、聖稜会入職式が4階会議室において行われました。



理事長より辞令交付

年号が平成から令和にかわる年に聖稜会の二員になった職員を代表して4名からの抱負をご紹介します。



役職者挨拶を聞く入職者

入職者の声

私は看護師となり、以前は総合病院に勤めていました。その中でリハビリテーション看護に興味を持ち、リハビリをする患者様に看護を通じて関わっていききたいと思い、当院に入職しました。患者様が十分なりハビリができ、スムーズに退院できるよう看護師として関わっていききたいです。

新たな職場で不安や緊張もありますが、1日も早くひとりの看護

師として活躍できるよう頑張ります。

平成31年度入職 看護師

4月から当院に入職しました。

現在は、先輩方の丁寧なご指導のもと、臨床の場で多くの経験をさせて頂いております。そして、日々の中で患者様一人ひとりのことを知っていききたいと思っております。

まだ、不慣れなことも多く不安もありますが、笑顔を忘れず、多くのことを学び実践に移し、一日でも早く皆様のお役に立てるよう努力していききたいです。

平成31年度入職 理学療法士

院内では専門的な勉強会や外部勉強会を紹介してくださり、学ぶ機会が多くあります。ただ、聞いているだけでは身につかないので、受け身にならないように振り返り、自己研鑽を心掛けたと思います。病院のルール等不慣れな部分が多くありますが、リハビリや各病棟のスタッフに助けていただきながら、患者様にリハビリを提供して

いきたいと思います。

平成30年度入職 言語聴覚士

4年間大学で学び、入職しました。学生から社会人へと立場が変わり、不安・期待も多くありますが、先輩方の丁寧な指導のもと、臨床の場での経験をし、作業療法の難しさや楽しさを感じております。今後は向上心を持ち、知識、技術を身に付け、良いリハビリテーションを提供できるよう日々努力していききたいと思っております。

平成31年度入職 作業療法士



編集 病院ホームページ委員会